

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入しており、地域の行事や役があれば入居者と一緒に積極的に参加し、小学生の下校時の見守り、ごみネットの管理をしている。野菜をいただいたり、散歩の際に立ち寄ってもらったりするなど近所づきあいを大切にしている。	○
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2か月に1度開催し、家族が参加しやすいよう終了後に行事を企画している。会議では評価結果の報告、ホームの状況や行事の報告をし意見を出し合っている。、認知症の理解を深めたいとサポーター養成講座を計画し市の職員を講師に実施した。	○
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	困りごとがあった時入居者と一緒に市の窓口に出かけて相談したり、何かあれば相談し助けてもらっている。空き室状況や苦情があった時は報告するなど、ホームから積極的に情報を提供したり働きかけて協力関係を築いている。	○
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	忘年会で家族の交流の機会をつくっている。玄関に意見箱を設置し、意見等言いやすいように職員から積極的に声をかけている。外部の苦情受付の窓口も説明している。毎月、「はるす通信」でホームの様子や入居者の生活状況を伝えている。	○
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町内会に加入し、地域の行事や祭りに入居者と一緒に参加している。防犯パトロールやごみネットの管理など地域の一員としての役割を担っている。頂き物や挨拶など普段の近所との付き合いを大切にしている。運営推進会議では外部評価結果やホームの状況について話し合い、地域で認知症を支えていく取り組みのための講座を開いた。市の担当者には何かあれば相談し情報を提供して積極的に働きかけており協力関係を築いている。意見箱を設置し、家族が何でも話せるよう職員から積極的に声をかけている。運営推進会議はホームの状況がわかり運営に関して話し合える場であるので家族が出席しやすいよう工夫をしている。毎月「はるす通信」でホームの様子や入居者の生活状況を伝えている。
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確 認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。